

第4回 釜石市新庁舎建設検討委員会結果概要

日 時 平成29年6月30日（金）午後2時30分から午後4時20分

場 所 釜石市役所第4庁舎第7会議室

議 題 報告事項 八幡平市役所庁舎視察報告
議案第1号 建設候補地、規模等の確認する事項について
議案第2号 新庁舎の機能について
議案第3号 新庁舎の素案図面について
議案第4号 事業手法について
議案第5号 今後のスケジュールについて

出席者 《委員》

石垣委員、岡道委員、柏木委員、柏舘委員、川崎委員、菊池委員、佐久間委員、
佐々木（光）委員、佐々木（耕）委員、澤田（龍）委員、澤田（政）委員、柴田委員、畠
委員、矢浦委員、山崎委員

《アドバイザー》

南 正昭 岩手大学教授

《事務局》

山崎副市長、正木総務企画部長、菊池財政課長、佐藤課長補佐、丸岡室長、洞係長、
宇都宮主事

協議内容

【委員】 庁舎を天神町に作るのは合意された事。これで進めて頂きたいが、信号機付の交差点を作らないと安全は確保出来ないと思う。警察の理解を得て信号機が有る交差点にして頂きたい。

【事務局】 信号機は基本設計を行い、警察との協議をして公安委員会の判断を頂くという事になる。道路の形状は、鳥谷坂の方から来るところの右折レーンを確保する。道路の設計と排水関係については、実施設計、或はお金が幾ら掛かるか試算をしながら考えて行く。

【委員】 人口減少が考えられるが、8つのセンターをどのようにするのか。8つでいいのかというものも有る。

【事務局】 生活応援センターは保健・医療福祉・生涯学習の拠点と合わせて住民票の発行など行政窓口を1本化したもの。地域会議を設置して地域の課題解決に向けた協働の拠点でもある。将来についても8つの生活応援センターは維持したい。

【委員】 三陸道に抜けての避難路と、非常時のルートはフルインターにならないまでも出来ると同っているが。

【事務局】 水海のインターところでの接続を考えたい。今はハーフインターだが緊急時は乗り入れ出来るよう働きかけを今後していく。

【委員】 前の道路は洪水とか津波が有った場合にはどの様に避難したらいいのか、横軸で繋ぐ、繋がらないの話だが。

【事務局】今年度において釜石小学校と保健福祉センターの整備はやることで計画をしている。

【委員】職員定数291人だが、釜石市の人口は前にお聞きした人口27000人に対比した291人と言う事か。

【事務局】その通り。オープンシティ戦略などの施策を進めながら人口の減少を緩やかにして27000人規模の人口で頑張りたい。

【委員】懇話会から新市庁舎は孤立しないことの提言が出されている。安全なアクセスを確保するという前提で天神町に決めたと思うが、アクセスは、公安委員会が反対するのはもっともの事。公安委員会がOKを出しても止めた方が良く。信号が有ろうと無かろうと、庁舎から右折するのは非常に危険だと思う。計画案に南側に向かう道路が狭くなっている所を何とか解決してほしい。この道を通れると言う事は非常に大事だ。市内東部地区、西部地区へはこちらから帰ると言うのが大前提だと思う。入口は今のままでいい。

【委員】横軸の避難路としては前回の震災でも非常に役に立った鳥谷坂を北に行くと高速道路で合流する。これが1番安全な道路です。

【事務局】天神町3号線の道路、これについては整備をする方向で検討している。庁舎を建設するにしてもこの道路が無ければ、工事車両が入る際に仮設の人達が安全に通れる道路を整備する前提が有る。

【委員長】天神町に庁舎が出来る事は決まった訳ですが、庁舎が出来る以上は、アクセスは大きな課題。もっと検討しながら次の段階では分かるように示して頂きたい。

【委員】路線バスを市庁舎に乗り入れるという事はあるのか？

【事務局】路線バスの乗り入れをと言うご意見を頂いているが、このアクセス道路で路線バスを入れるためには、十分な対策を取らなくてはならない。

【委員】市議会と市幹部が毎日良い緊張感を持てるフロア作りをするというのが、ある。今は3階だが同じフロアになると、毎日顔を合わせて良い緊張感が出来るのか。

【委員】吹き抜けがあるが掲示とか広報の多目的の部分はこの吹き抜けの部分に作ると、開庁時間しかイベントは出来ないという事もある。休日等で職員が出勤していない時にこのスペース使うという事は防犯上出来ないのでは。

【事務局】設計については、国の基準面積に基づいて7460㎡となっている。この吹き抜けのスペースを使う場合には基準面積を越えてしまう。

【委員】1階左側のスペース、玄関も南向きの一等地なのに、更衣室とか印刷室とかは裏にあっても良いと思う。市民課のブースにしても、囲まれてはいるけども、使い方としたら、玄関から真っ直ぐ入って、受付が並んでワンストップとは言うけども、目的のセクションに行くのが一番解りやすい。

【事務局】これはあくまでもこれは機能が入るかどうかを入れただけなのでパズルと同じですので今後変更は有る。

【委員】再生エネルギーの関係だが、太陽光発電を屋上に設置出来ないものかお聞きしたい。

【事務局】再生エネルギー、太陽光発電ですが、可能な限り太陽光発電とか設置したい。

【委員】防災無線、非常時では電源を確保することになると思うので、その辺の無線室の確保は。

【事務局】災害時は非常発電から電源を取って常に使える状態にするのは当然のこととっている。

【委員】吹き抜けの問題は大いに賛成する。大きい空間が有って圧迫感が少ないと思うので、働く人も来客者も非常に快く吸い込まれる感じがする、他には無い良い点と思う。

【委員】建設の場所は出来るだけ北寄りに、来客用の駐車場のスペースを出来るだけ広く取るスペースの取り方が圧迫感の無いスペースになると思う。

【事務局】南側を広くとることは、駐車スペースを確保するうえでは良いと思う。

【委員】市民が利用するエントランスホール、多目的エリアがこれで良いのか、或は大き過ぎるんじゃないのか。この辺の方向性を決めてあげないと。配置は仮の配置、あまりこだわらなくていいと思う。

【事務局】市として今後進めていく上で、市民の方々が一番使う部分の大きさ、規模、場所、入ってどの位置が良いのか、そこについて議論を深めて頂くことによって、それ以外の部分を決めていけると思うのでこれで狭いとか広いとかは今ここで結論は出ないと思うが、この委員会の中である程度の方向性を出して頂ければと思う。

【委員】執務が行われてない時にはオープンカウンターにシャッターを付けて、その時はオープンじゃない様に設けている。技術的な話だが、普段は開かれた庁舎のオープンカウンターを仕切りして後はイベントとして使いたいときには技術的な事で解決出来る。

【委員】多目的エリア、64帖程度あります。エントランスホールもそれと同等以上あるので充分かと、ある程度のスペースは確保出来ていると思う。

【アドバイザー】この委員会で大分煮詰まってきた。多くの要望を出したし、本日もまた多目的エリア・エントランスホールの大きさをどうするんだと、非常に重要な視点だと。こんなことをしっかり考えてほしいと言う事を挙げて、後はそれに向けて調整を取ってもらうやり方になると思う。アクセス道路を非常に気にされている。利用上とても大事な事ですから説明にも多々ありましたけれども、今はまだ決められない。まだ用地も取得してない。これから基本的な計画設計して、より細かな設計してという段階に入っていきますし、土地の問題とお金の問題と相談しながら進めて行くと思う。バスを入れるようにしてほしい、車線を広げてほしい、2本で繋げるようにしてほしい。大切なポイントが挙がってきている。後は専門家、技術屋さんにお任せするという事になる。

【委員】リースとか選んだ場合に、支払いが長期になると今見えない消費税とか金利とかかかわって来るとも有ると思うので多方面に渡って検討して有利な方式で適切に取り組んで頂きたい。要望です。

【委員】事業方式は地元の建設業者さんが参加出来るように、デザインビルドとリース方式は避けてほしい。今まで震災の中でも地場産業が潤わなかった。是非、従来方式で地元の施工業者が参加出来るような方式を選んでほしい。

【委員長】非常に素晴らしいご提案が御座いました。地元の業者が仕事をやることによって、地元にお金が残る。現在、震災復興工事に大規模な工事をやっておりますけれども、ゼネコンが取っては釜石に一銭も戻って来ません。将来の展望で釜石を考えた場合に釜石が成り立っていくのか。今、仰ったことは非常に重要な案件だと思います。

- 【事務局】今年、市町村役場機能緊急保全事業と言う制度が平成 29 年度、国から示されました。スケジュールを考えたときには従来方式が一番可能性が高いと思う。
- 【委員長】次回は提言書の案が出ますので、確認をして頂いて委員会として態度を示して、となると思いますので宜しくお願いします。皆さんありがとうございました。